

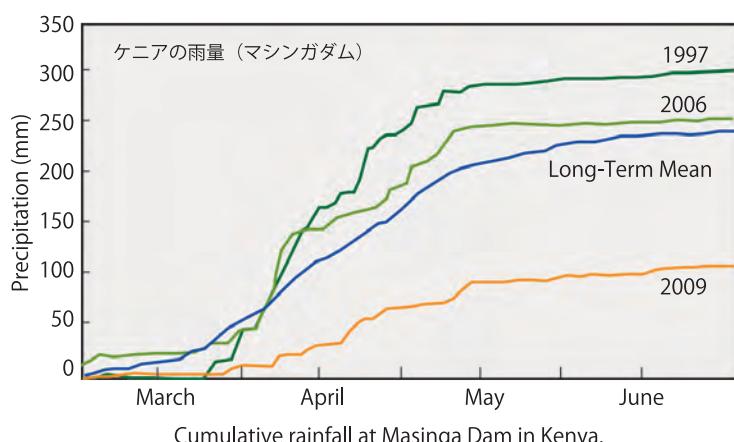
DROUGHT IN AFRICA

アフリカの旱魃

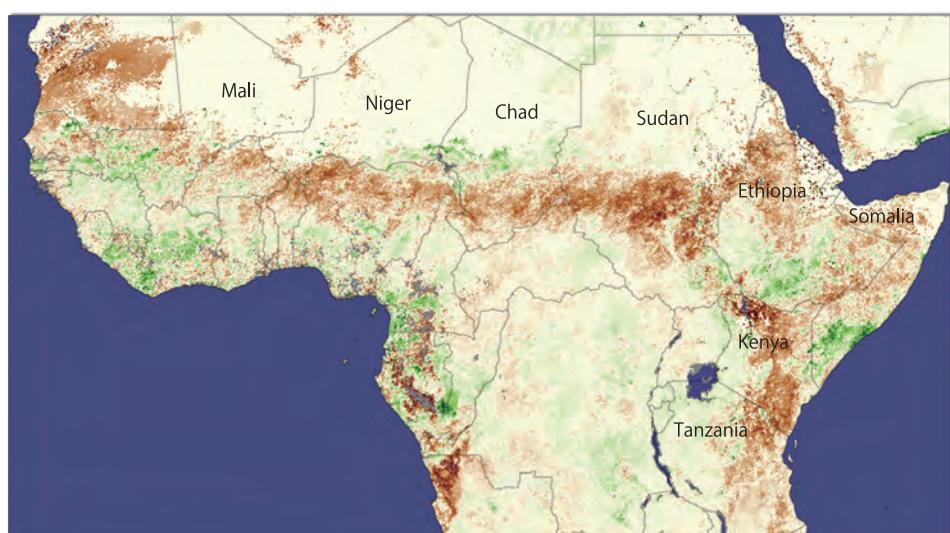
2009年NGOオックスファム*は深刻な旱魃（かんぱつ）に見舞われているケニアやソマリアなど東アフリカ一帯で、雨期に当たる11月に雨がほとんど降らず、新たに数百万人が飢餓に直面する恐れがあると警告しました。

「11月の雨は多くの人々にとって『最後の望み』だったが、またしても降らなかった」としています。

オックスファムによると、ケニア北部トゥルカナ地方やエチオピア東部オガデン地方などでは11月、例年の5%未満しか雨が降りませんでした。ケニア、タンザニア、ウガンダではこれまでに旱魃で計150万頭以上の家畜が死んだという報告があります。



Just south of the vast expanse of the Sahara desert, a belt of fertile grassland stretches across the bulge of Africa. Called the Sahel, the region thrives or fails depending on seasonal rainfall, which comes primarily in a handful of weeks during the rainy season. In dry years, little grows, and those who depend on rain to grow crops in the Sahel may face hunger. In wet years, crops grow well, providing a source of income and food for people in many countries. In 2009, the outlook was not good for plants in the Sahel.



Vegetation anomaly in Sahel and Eastern Africa, June 2009.

サハラ砂漠の南に広がる乾燥地帯、「サヘル」の植物の成長は、雨期の特に最初の数週間の雨量に依存します。旱魃の年は牧草はほとんど成長せず、半農半牧の人々は飢餓に直面します。一方、雨の多い年は牧草もよく成長し、また穀類等の食糧にも恵まれます。

2009年は旱魃で植生にとって希望のない年でした。NOAA AVHRRのデータから推定した植生の変動図（左図）から、深刻な旱魃に見舞われていることがわかります。この地域の降水は不安定で、たえず旱魃の恐れに直面しています。

* オックスファム・インターナショナル（Oxfam International）は貧困と不正を根絶するための持続的な支援・活動を100カ国以上で展開している団体です。